



川越 清樹
Seiki KAWAGOE
 博士(環境科学)
 東北大学

2007 東北大学大学院
 環境科学研究科
 産官学連携研究員
 2008 Curtin University
 of Technology
 客員研究員
 2009 福島大学
 共生システム理工
 学類 准教授

気候変動が水・土砂災害や 水資源に及ぼす影響の評価

気候システムの温暖化や、社会構造変化に伴う土地利用の高度化により、生活に密接する水環境の問題が顕在化している。降雨、流出、浸透、貯留、蒸発の水循環とこれに関わる人間活動を踏まえ、健全な自然環境の維持と社会活動の共存を図る必要性が高まっている。

これに対し、気候変動、社会構造の変化が水・土砂災害や水資源に及ぼす影響の評価として、治水、治山、および利水に関する研究に取り組んでいる。現地調査、実験から水循環過程とそれに関わる社会への影響を理解し、その過程をモデルすること、影響要因を解明すると同時に要因に関わるデータ(数値気候モデル,数値地理情報等)をモデルに入力することで将来影響を予測することが、一連の研究の流れとなる。また、研究成果を基に、リスクを回避、および最小限にとどめるためのマネジメントの提案にも取り組んでいる。国内外の地域、グローバルな領域を研究の対象領域としている。

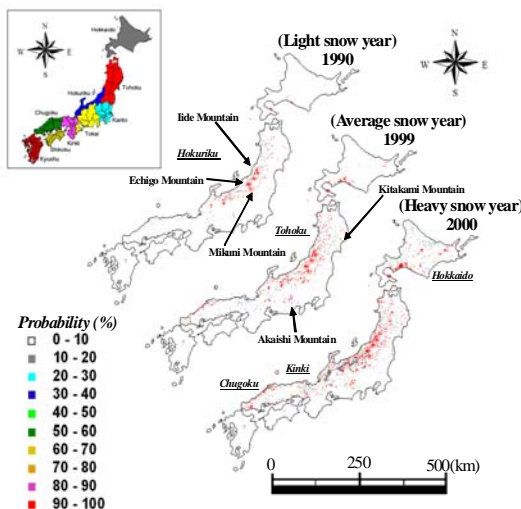


図-積雪量に応じた斜面崩壊発生確率分布

学会活動

土木学会(水工学委員)
 水文水資源学会(編集委員)
 自然災害学会
 砂防学会

主な研究分野

- ① 自然災害(洪水, 土砂災害)
- ② 水資源
- ③ 気候変動による水環境の影響
- ④ 水マネジメント

社会活動

国土交通省:
 リバーカウンセラー(阿武隈川上流), 阿武隈水系河川整備委員会, 福島ブロック総合評価委員会等 委員
 福島県;
 環境影響評価委員会, 海岸津波対策等検討会 委員

相談に応じられる分野・テーマ

- ① 気候変動による水災害影響評価モデリング
- ② 気候変動による水資源影響評価モデリング
- ③ 水文解析のモデリング

キーワード

水工学, 水文学, 河川工学, 自然災害科学

主な担当科目

流域水管理特論 I, II
 水循環システム
 ほか

代表的な業績

1. S. Kawagoe, S. Kazama, and P. R. Sarukkalgige(2010), Probabilistic modeling of rainfall induced landslide hazard assessment, Hydrology and Earth System Sciences, Vol.14, pp.1047-1061.
2. 川越清樹・肱岡靖明・高橋潔(2010), 温暖化政策支援モデルを用いた気候変動に対する斜面崩壊影響評価, 地球環境研究論文集, Vol.18, pp.29-36.
3. S. KAWAGOE, S. KAZAMA and P. R. Sarukkalgige(2009), Assessment of snowmelt triggered landslide hazard and risk in Japan, Cold Regions Science and Technology. Vol.58, Iss.3, pp.120-129.
4. 川越清樹,風間聡,肱岡靖明,高橋潔(2009):土砂崩壊リスク評価に対する気候モデルの適用,水工学論文集,Vol.53,pp.661-666.
5. 川越清樹,菊地裕,風間聡,滝沢智(2008):気候変動による主要河川の水質の影響評価,環境工学論文集,Vol.45, pp.467-474.